

## 概要

当委員会は会計を取り扱うことから、藤岡治担当副会長、高原哲夫担当理事、中澤宏副担当理事、田中伸明委員、林伊吹委員のメンバー及び事務局平間妙子さん（会計担当）、井出あゆみさん、斎藤豪先生（公認会計士）の協力のもとに業務を遂行しています。当医会の年間収支をしっかりと把握するとともに、毎月の収入・支出についてもチェックしております。

代議員会において、議案として前年度の収支決算書を上程し承認を得ること、当該年度の収支予算（案）を策定して報告することが最重要案件かと認識しております。当委員会として考えられる業務として以下の事案が挙げられます。

## 経理

### 1) 収支予算（案）の作成と検討。

令和6年度の会費について、値上げを前提として検討する。

### 2) 会費の納入方法・時期について検討する。（特に勤務医からの納入について

検討する。）また現在行われている各地方医会の代行徴収に関する改善案を検討する。

### 3) 各委員会からの経費請求方法について検討する。

### 4) 収支決算書の作成。

## 会員福祉

### 1) 大規模災害時に際しての医会の初期対応マニュアル策定についての検討。

① 被災地域の特定と被害実態把握。

② 医会組織として災害時要支援者への対応。

### 2) 臨床医会加入への積極的な働きかけ。

入会促進による組織率の向上と組織力の強化、都道府県医会への会員増強の働きかけを行う。

### 3) 定款、会則では対応できない事案について、諸規定・運用細則を作成し対応する。

### 4) 会員対象の福祉事業（レクレーション、懇親会等）について検討する。

### 5) 医業承継の窓口、退職勤務医等耳鼻咽喉科医としてのドクターバンクへの参画（勤務医委員会との協働）。

## 現在の活動状況

COVID-19が5類感染症へ区分移行されて、臨床医会活動も徐々に活発化しています。福與会長も次年度からは通常通りの活動を行っていく意向を述べられており、予想される医会活動の活性化を鑑みて、現在当委員会が注力している

案件として次年度の会費値上げがあります。

- ① 委員会業務の活性化に伴う事業費、会議費や交通費等事業費支出の増大。
- ② 委託費、職員給与、事務所運営・整備費、光熱費等の管理費支出の増大。
- ③ 前代議員会で報告した特定資産（退職給与積立資産、大規模災害支援積立資産、事務所移転積立資産、周年事業等積立資産）において、その費用を概算して毎年特別口座への積み立てが必要である。

現在の医会収入はほぼ全額会費収入に依存している状態であり、上記①②③の理由から次年度は相当額のマイナス収支となることが想定され、次年度の会費値上げは避けられない状況です。

経理・会員福祉委員会としては、会員の皆様に納得いただくよう十分な説明責任をはたすことが肝要であり、またその値上げ額についても検討しています。

理事会において慎重な協議の上、次期代議員にて会員の皆様に諮りたいと思います。宜しく願いいたします。

現在、想定外の大規模災害発生時における医会の初期対応として会員・家族或いは医療機関の被災状況を早急に克つ正確に把握するべく、連絡網の整備と対策本部の設置等に関する「大規模災害発生時初期対応マニュアル」の策定について検討しております。

また会員の弔事に対する弔慰規程が未整備であり、作成しております。